

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/7)

認定番号: 0182-1412, サービス名称:SaaS型電子申請サービス, 事業者名称:富士通株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
1	開示情報の時点	開示情報の日付	必須	2018/11/15	
- 事業所・事業					
2	事業所等の概要	事業者名	必須	富士通株式会社	
3		設立年・事業年数	事業者の設立年(西暦)	必須	1935年
			設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)		83年
4		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須	〒211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中四丁目1番1号
	事業所数(国内、国外)		29事業所		
	主な事業所の所在地		本店1、本社1、北海道:1、東北:3、関東:16、東海:1、近畿:2、四国:1、九州:3		
5	事業の概要	主な事業の概要 事業者の主要な事業の概要(ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須	ICT分野において、各種サービスを提供するとともに、これらを支える最先端、高性能かつ高品質の製品および電子デバイスの開発、製造、販売から保守運用までを総合的に提供する、トータルソリューションビジネスを行っています。	
- 人材					
6	経営者	代表者氏名	必須	田中 達也	
		代表者写真	選択	記述有り(*)	
		代表者年齢		記述有り(*)	
		代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)		記述有り(*)	
7	役員	役員数	選択	記述有り(*)	
		役員氏名及び役職名		記述有り(*)	
8	従業員	従業員数	選択	記述有り(*)	
- 財務状況					
9	財務データ	売上高	必須	1兆8315億1300万円(2018年3月期)	
10		経常利益	選択	記述有り(*)	
11		資本金	必須	3246億2500万円(2018年3月期)	
12		自己資本比率	選択	記述有り(*)	
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	選択	記述無し(*)	
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	選択	記述無し(*)	
15		上場の有無	株式上場の有無と、上場の場合は市場名	選択	記述有り(*)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/7)

認定番号: 0182-1412, サービス名称:SaaS型電子申請サービス, 事業者名称:富士通株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
16	財務信頼性	財務監査・財務データの状況	選択	記述有り(*)	
17		決算公告	決算公告の実施の有無	記述有り(*)	
- 資本関係・取引関係					
18	資本関係	株主構成	選択	記述無し(*)	
19		大口取引先	大口取引先の名称	選択	記述無し(*)
20		取引関係	主要取引金融機関	選択	記述無し(*)
21			所属団体	所属している業界団体、経済団体等の名称	選択
- コンプライアンス					
22	組織体制	コンプライアンス担当役員	選択	記述無し(*)	
23		専担の部署・会議体	コンプライアンスを担当する社内の部署・会議体の有無と、存在する場合は社内の部署名・会議名	選択	記述有り(*)
24	文書類	情報セキュリティに関する規程等の整備	必須○	PSBGIS10-010_PSBG情報セキュリティ基本方針 PSBGIS10-020_ISMS適用宣言書 PSBGIS10-050_PSBG_ISMSマニュアル PSBGIS20-010_PSBG情報セキュリティ実施基準 PSBGIS20-020_PSBG情報セキュリティ実施要領書 PSBGIS20-040_PSBG情報セキュリティ監査実施要領書 PSBGIS20-050_PSBGRリスクアセスメント実施手順書	
				上記の文書類の経営陣による承認の有無	
25		勧誘・販売に関する規程等の整備	選択	記述無し(*) 上記の文書類の経営陣による承認の有無	
26		ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	必須	有 運用保守計画書 運用管理手順(ヘルプデスク) 有	
- サービス基本特性					
27	サービス内容	サービス名称	必須	SaaS型電子申請サービス	
28		サービス開始時期	申請したASP・SaaSのサービス開始年月日(西暦)	必須	2007/10/1
			サービス開始から申請時までの間の大きなリニューアル等実施の有無と、行われた場合はリニューアル年月日(西暦)		無
29		サービスの基本タイプ	必須	アプリケーションサービス	
30		サービスの内容・特徴 <500字以内で記述>	必須	総務省基本仕様である汎用受付・届出機能と、携帯電話からの申込みや届出を行える簡易申請機能を提供しています。また、手続きに関する案内(ナビゲーション)機能を提供しています。オプションサービスとして、ヘルプデスクサービスを提供しています。手続き様式を自治体職員が簡単に作成できる仕組みを提供することで、自治体のランニングコストの削減を図ります。	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/7)

認定番号: 0182-1412, サービス名称:SaaS型電子申請サービス, 事業者名称:富士通株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
		他の事業者との間でサービス連携を行っていることの有無と、ある場合はその内容 <前記述と合せて500字以内で記述>		無
31	サービスのカスタマイズ範囲	アプリケーションのカスタマイズの範囲(契約内容に依存する場合はその旨記述) <200字以内で記述>	必須	アプリケーションの個別カスタマイズは原則承っておりません。
32	サービスの(事業)変更・終了時の事前告知	利用者への告知時期(事前の告知時期を1ヶ月前、3ヶ月前、6ヶ月前、12ヶ月前等の単位で記述)	必須○	サービスを廃止する場合には、3ヶ月前までに告知します。
		告知方法		電子メール又は書面にて告知します。
33	サービスの(事業)変更・終了後の対応・代替措置	対応・代替措置の基本方針の有無と、基本方針がある場合はその概略	必須	有
		基本方針に沿った具体的なユーザへの対応策(代替サービスの紹介等)の有無と、対応策がある場合はその概略		有 個別に代替サービスへの移行等の提案対応を実施させていただきます。
		契約終了時の情報資産(ユーザデータ等)の返却責任の有無		有
34	サービスの(事業)変更・終了に係る問合せ先	問合せ先(通常の苦情等の問合せ窓口も含む)の有無と、問合せ先がある場合は名称・受付時間	必須○	有 電子申請サービスヘルプデスク 電話受付時間 土日・祝祭日を除く 9:00~17:00 (FAX、メールは24時間受付。ただし受付のみ)
35	課金方法	従量部分の課金方法	必須	無
		固定部分の課金方法		個別見積りとなります。(利用するサービスメニューの種類、人口規模に応じた料金となります)
36	サービス料金	初期費用額	必須	個別見積りとなります。(利用するサービスメニューの種類、人口規模に応じた料金となります)
		月額利用額		個別見積りとなります。(利用するサービスメニューの種類、人口規模に応じた料金となります)
		最低利用契約期間		1年
37	解約時ペナルティ	解約時違約金(ユーザ側)の有無と、違約金がある場合はその額	必須	有 最低利用期間に満たない場合は、残り期間の料金を請求する。
38	利用者からの解約事前受付期限	利用者からのサービス解約の受付期限の有無と、有りの場合はその期限(何日・何ヶ月前かを記述)	必須	有 解約希望日の3ヶ月前
39	サービス稼働設定値	サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値	必須	期間:2017年10月1日~2018年9月30日 稼働率:99.99%
		申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値		パターン2、対策参照値99%以上
		サービス停止の事故歴		期間:2017年10月1日~2018年9月30日 事故歴:サービス停止なし

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/7)

認定番号: 0182-1412, サービス名称: SaaS型電子申請サービス, 事業者名称: 富士通株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
40	サービスパフォーマンスの管理	機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法 (検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法)	選択	記述有り(*)
		サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法 (検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)		記述有り(*)
41	サービスパフォーマンスの増強	ネットワーク・機器等の増強判断基準あるいは計画の有無、判断基準や計画がある場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要	選択	記述無し(*)
42	認証取得・監査実施	プライバシーマーク、ISMS(JIS Q 27001など)、ITSMS(JIS Q 27001など)の取得、18号監査(米ではSAS70)の監査報告書作成の有無、上記がある場合は認証名あるいは監査の名称	選択	記述有り(*)
43	個人情報の取扱い	個人情報を収集する際の利用目的の明示	必須	利用規約に本サービス以外の目的で使用しないことを記載し、利用者の合意を得た上で、本サービス利用をしていただくようにしています。
44	脆弱性診断	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)	選択	記述有り(*)
		診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに)		記述有り(*)
45	バックアップ対策	バックアップ実施インターバル	必須	日次(1回/1日)
		世代バックアップ(何世代前までかを記述)	必須	7世代
46	バックアップ管理	バックアップ確認のインターバル	選択	記述有り(*)
47	受賞・表彰歴	ASP・SaaSに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	記述有り(*)
48	SLA(サービスレベル・アグリーメント)	本審査基準に含まれる開示項目がSLAとして契約書に添付されるか否か	必須	有ただし、SLA契約とするかは個別協議となります。
49	サービス利用量	申請したASP・SaaSのサービスの利用者ライセンス数 (同時接続ユーザ数か、実ユーザ数かも明示)	選択	記述有り(*)
50		代理店数	申請したASP・SaaSのサービスの取扱い代理店数	選択
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等				
51	内容	主要ソフトウェアの名称	必須	SaaS型電子申請サービス
		主要ソフトウェアの概要 <200字以内で記述>	必須	ASP/SaaS形式で通常申請と簡易申請のアプリケーションサービスを提供しています。申請者(住民、企業)はインターネットを経由し、電子申請・届出を行うことができます。職員はLGWANを経由し、様式の作成・編集・公開及び申請の受付・審査等の業務を行うことができます。主な機能は次の通りです。 ・汎用申請 ・簡易申請 ・受付機能(一括受付) ・審査機能(一括審査) ・ナビゲーション機能 ・認証基盤連携 ・決済基盤連携 ・他システム連携
52	主要ソフトウェアの提供事業者	提供事業者の名称	必須	富士通株式会社(申請者に同じ)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/7)

認定番号: 0182-1412, サービス名称: SaaS型電子申請サービス, 事業者名称: 富士通株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
53	連携・拡張性	他システム等との連携方法	選択	記述有り(*)
		標準的でないAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の公表の可否		記述有り(*)
54	セキュリティ	死活監視(ソフトウェア、機器)	必須○	アプリケーション: 10分 サーバ・ストレージ・NW機器: 1分
		障害時の利用者への通知時間		障害発知後1時間以内
55	セキュリティ	障害監視(ソフトウェア、機器)	必須	有
56	セキュリティ	時刻同期	必須	NTP
57	セキュリティ	ウイルスチェック	必須○	ウイルスチェック: 有 パターンファイル更新間隔: 1日以内
58	セキュリティ	記録(ログ等)	必須○	記録取得: 有 保存期間: 1年間 種類: オンラインログ、エラーログ、バッチログ、アクセスログ、DBアクセスログ、OS、ミドルウェアログ
59	セキュリティ	セキュリティパッチ管理	必須○	ベンダーリリースからセキュリティパッチ適用方針を決定するまでの時間: 7日以内 その際の適用方針に従ってパッチ適用を行います。
- ネットワーク				
60	回線	推奨回線	必須	申請者側: インターネット 職員側: LGWAN回線
		ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲	必須	IDC(サービス提供拠点)と利用者との間のユーザ接続回線は、責任を負いません。
61	回線	推奨帯域	必須	無
62	回線	推奨端末	必須	パソコン: Windows 7 Service Pack 1 (32ビット/64ビット) Windows 8.1 (32ビット/64ビット) Windows 10 (32ビット/64ビット) OS X v10.12 Sierra OS X v10.13 High Sierra スマートフォン: iPhone、iPad (iOS5.0搭載機種~) Android (5.0対応機種~)
		利用するブラウザの種類	必須	Windows: Internet Explorer 11.0 Microsoft Edge Mozilla Firefox 59 Google Chrome 65 Mac: Safari 10.0/11.0
63	回線	ファイアウォール設置等	必須○	有
64	回線	不正侵入検知	必須	有
65	回線	ネットワーク監視	選択	記述有り(*)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/7)

認定番号: 0182-1412, サービス名称:SaaS型電子申請サービス, 事業者名称:富士通株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
66	セキュリティ	ID・パスワードの運用管理	必須○	有
67		ユーザ認証	必須○	ID、パスワードによる認証
68		管理者認証	必須○	有
69		なりすまし対策(事業者サイド)	必須	有 認証局が発行するSSLサーバ証明書を取得し、使用しております。
70		その他セキュリティ対策	選択	記述無し(*)
- ハウジング(サーバ設置場所)				
71	施設建築物	建物形態	必須	専用
72		所在地	必須	日本・中国地域
73		耐震・免震構造	必須	震度7 無 サーバラックは耐震及び免震構造
74	非常用電源設備	無停電電源	必須	UPS有 電力供給時間:10分
75		給電ルート	必須	確保されていない 但し、同一変電所からの本線と予備線あり
76		非常用電源	必須	有 無給油連続稼働時間:24時間(データセンター事業者に確認)
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	必須	有 ガス系(HFC-23型ガス式消火)
78		火災感知・報知システム	必須	有
79	避雷対策設備	直撃雷対策	必須	有
80		誘導雷対策	必須	有 最大対応電圧:2,000V(データセンター事業者に確認)
81	空調設備	十分な空調設備	選択	記述有り(*)
82	セキュリティ	入退館管理等	必須	有 保存期間:3年(データセンター事業者に確認) 有 稼働時間:全サービス時間 監視範囲:入館口外部、館内(廊下・運用室)、サーバ室内 保存期間:90日
				有
83	媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	必須	有(耐火金庫)
				有

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/7)

認定番号: 0182-1412, サービス名称:SaaS型電子申請サービス, 事業者名称:富士通株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
84		その他セキュリティ対策 その他特筆すべきセキュリティ対策を記述 (破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	選択	記述有り(*)
- サービスサポート				
85		連絡先	必須○	お客様によって異なります。
		代理店連絡先の有無と、ある場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先		無し
86		営業日・時間	必須	お客様によって異なります。
		メンテナンス実施時間		受付時間外に行います。
87	サービス窓口 (苦情受付)	サポート対応	選択	サービスサポートの稼働率の実績値(単位:%)
		放棄率の実績値(単位:%)		記述有り(*)
		応答時間遵守率の実績値(単位:%)		記述有り(*)
		基準時間完了率の実績値(単位:%)		記述有り(*)
88	サポート範囲・手段	サポート範囲	必須	操作方法及び障害時の連絡等
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		電話または電子メール、Web問合せページで対応します。
89	サービスダウンしない仕組み	サービスが停止しない仕組み(冗長化、負荷分散等)	必須	仮想化、負荷分散
90	サービス保証・継続	事故発生時の責任と補償範囲	必須	有 SLA計画書
91	サービス通知・報告	メンテナンス等の一時的サービス停止時の事前告知	必須○	利用者への告知時期 (1か月前、3か月前、6か月前、12か月前等の単位で記述)
		告知方法		電子メール
		記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		有
92		障害・災害発生時の通知	必須○	有
93		定期報告	必須	有

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。